

前期後半が始まりました

日中はまだまだ暑さの厳しい日が続いていますが、夏休みが終わり、前期後半が始まりました。笑顔で「おはようございます」と元気よく登校してくる児童が多く、充実した夏休みを過ごしていた様子が見えよかったです。中には、少し足取りが重い児童、緊張が感じられる児童もいました。きっと、ご家庭で励まし、送り出してくださったのだと思います。ありがとうございます。

教室では、夏休みの出来事について紹介し合う学級がありました。夏休みに取り組んだ作品も並んでいました。夏休みの体験を通して、心身ともにひとまわり大きくなり、前期後半を迎えたように感じます。9月1日からは、教育実習も再開しました。さらに今後、宿泊体験学習、研究発表協議会、音楽会等、毎年行っている大きな学校行事もあります。仲間とともに多くの学習や行事に臨むことで、楽しく充実した学校生活を送れるよう、心を配っていききたいと思います。

エアコンがつかしました

小学校の3階教室のエアコンが新しくなり、前期後半から使っています。3階教室のエアコンは、150周年での皆様からのご寄付と、大学の財源を合わせて実現することができました。おかげさまで、子どもたちが快適な中で学習に臨むことができます。ありがとうございます。また、体育館と大ホールにもエアコンが設置され、暑い日でも体育館で体育科をはじめとする学習ができるようになりました。



第2回代表委員会

給食が始まった9月1日(火)の昼休みに、第2回目の代表委員会が中ホールで開かれました。1年生から5年生までの各学級の代表と、17の「かなえるタイム」の部長(6年生)が、一堂に会しました。今年度の全校スローガンである「いつも思いやりを行動にうつそう」を実現するために、「遊び方について」「廊下・階段・テラス歩行について」「言葉づかいについて」「登下校のルールについて」話し合いました。これに先立ち、代表委員を中心に、現在の学校生活で困っていることや、こうした方がよいというアイデアについて各学級で出し合い、今日の代表委員会に臨みました。学校生活で困っていることについて代表委員から意見が出ると、各部の部長から、「自分の部に持ち帰って考えます」「〇〇に取り組みます」という風に話し合いが進みました。例えば、「一輪車の後片付けがあまりできていないと思う」という意見が出ると、安全部の部長からは、「ポスターをつくって呼びかけます」と答えがあったり、「廊下歩行がしっかりとできるとよい」という意見が出ると、附小発信部から「ルールを発信します」といった答えがあったりしました。子どもたちの話し合いの様子を見て、自分たちの学校を自分たちでよくしたいと願い、そのためにはどうしたらよいのかを考えていく姿勢を、これからも大切にしていきたいと思いました。この代表委員会の話し合いが、来週の「かなえるタイム」における各部の話し合いにつながっていきます。



(文責 石田 智香子)